



大川市ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症は、森林開発などにより地球温暖化や生態系の崩壊が進み、人と野生動物の生息区域が変化したことで、動物が持つ病原体が人にも感染するようになったとされています。

人獣共通感染症を予防するためには、こうした様々な分野にまたがる問題に対して、人と動物の健康と環境の健全性を一つとして捉える「ワンヘルス」の理念のもと、予防的アプローチによる人と自然が共に生きられる社会の実現への取り組みが求められています。

福岡県では、令和3年1月に「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が施行され、今年3月には、ワンヘルス推進のための施策や取り組みを体系的に整理し、県民、事業者、自治体等関連団体の役割を示した「福岡県ワンヘルス推進行動計画」が策定されました。

本市は、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

1. 福岡県ワンヘルス推進行動計画に基づき、福岡県の取り組みに連携・協力し、ワンヘルス実践施策を積極的に推進します。
2. 市民へのワンヘルス周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し必要な支援を行います。

令和4年10月21日

大川市長 倉重良一